

オンライン授業の課題と可能性

－アナログ教師の試行錯誤－

横溝紳一郎(西南女学院大学)





アクティブ・ラーニング＝授業改善のきっかけ



2019年6月6日 発刊

アクティブ・ラーニングをめざす授業のタイプ

1. 既存の授業形態をがらりと変えるもの

- 大きな授業改革に着手する

山田＝デジタル



2. 既存の授業のある活動などを主体的／ 脳働的に変えていくもの

- できることから始める。

横溝＝アナログ



オンライン授業に関しては...



山田 = 先生



横溝 = 生徒

西南女学院大学の日本語教師養成課程のカリキュラム

1年生

前期

日本語教育方法論1

後期

日本語教育方法論2

日本語学概論

2年生

前期

日本語教育方法論演習1

異文化間コミュニケーション1

後期

日本語教育方法論演習2

異文化間コミュニケーション2

3年生

通年

日本語教育実習



授業ビデオの作成

ZOOM授業の工夫と課題



授業の進め方

1. 予習宿題(課題図書)についての質疑応答・感想共有
2. その日の学習項目の説明と体験
3. その日の学びの整理(授業後に復習宿題として提出)

工夫

1. 画面共有(PPTデータや映像を見せる)時間と、ギャラリー・ビューでの意見交換時間の組み合わせ
2. 質問の投げかけ方と発言の拾い方(ライブ感を出す)

課題: 教育実習での実体験をどう創りだすか

作成ビデオによる授業の工夫と課題



めざす授業

1. 「色々なことをやってみたり考えたりしながら、あるテーマについて自分なりの考えをまとめていく」授業

授業の進め方

1. 映像データ(40~50分程度)をGoogle Classroomにアップロード
2. 学生は映像の内容に沿って学習を進める
3. 視聴後に学びの整理(授業後に復習宿題として提出)

工夫

1. 映像データ自体をできるだけ楽しく飽きない内容に＝PPTデータや映像を見せる時間、考えさせる時間、教科書を読む時間の組み合わせ
2. 質問の投げかけ方と解答の出し方(ライブ感を出す)

課題: 復習宿題を単なる授業の感想に終わらせない工夫が必要

山田先生からのアドバイス



オンライン授業の特性

1. ぶらりと教室に行ってその場の雰囲気ですら授業をするということがオンラインになるとできないんですよね。「何を教えるか(何を教えないか)」の核をちゃんと持ってないといけませんね。

注意すべきこと

1. 先生方って、対面授業でやっていたことをそのまま100%オンラインでやろうとする人が多いようです。オンラインだからできること、オンラインだとできないことの見極めが大切です。

試行錯誤からの学び

教育実習生にいつも言うこと

皆さんの目の前にいる
日本語学習者は
みなさんの**敵**では
ありません。
一緒に授業を創っていく
仲間だと
思ってください。



試行錯誤からの学び

現在学生に言っていること

この授業では、たくさんの話し合いの機会を持ちたいと思っています。

いつもはface-to-faceで行なっている話し合いを、オンライン環境でどこまでアクティブにできるのか、**大きなチャレンジ**です。



試行錯誤からの学び

現在学生に言っていること

皆さんの積極的な参画を
期待しています。

いっしょに素晴らしい授業を
創り上げましょう！



以上です！

